

和楽の献奏を聴く参詣の檀信徒

くの参拝者をお迎えしてきております。
年間行事の法要には、それぞれに意味があり、意義が備わっています。参拝者の方々には、是非、このことを理解してお参りして頂ければ、功德もより多大なものになります。
さて、本年の初講法要も寒さにもかかわらず、たくさんさんの御参列を頂き誠にありがとうございました。初



和楽の献奏を聴く参詣の檀信徒

講の名の如く、日蓮大聖人への、心を合わせての法要を営むことができました。
また、今回は、御法話に代えて、お正月ということ、御箏の小路永こずえ師をはじめ、小路永和奈師、蓑田由美子師、尺八の大河内淳矢師（東京から）の四名の先生方をお招きしまして、当山仏祖三宝様へ、和楽の献奏を頂戴いたしました。

日蓮宗の宗歌をはじめ、新春にふさわしい和楽曲を演奏頂き、曲間には、楽しいトークや和楽器の説明等も懇切丁寧に行われ、童謡まで合唱演奏下さいました。普段なかなか、触れることのない和楽器の音色に、老若男女それぞれ楽しまれていられるようでした。
法華経の中にも音楽と様々な楽器が登場します。楽器の音色をもつて、音楽を仏様へ供養するくだりです。
今回の献奏も然り、法華経の教えにかなったものであり、仏祖三宝も大変にお慶びになられたことでしょう。参拝者も仏様と共に音楽をもつて喜びを共有出来ましたことは、大変ありがたい献奏会になった証でもあります。先生方には感謝申し上げます。

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

献奏会と法要が終わり、手製の本膳おときを皆様お召しあがりになりました。手作りのおときは、当山の誇りであります。婦人会並

団扇太鼓・お題目 山鹿の街にひびく

初日は足慣らしコース 暦どおりの気候になった 大寒の一月二十日、栗原筆頭総代初め二十一名が参加して、四十年目を迎えた平成二十七年寒修行が始まり、私は二年ぶりに参加しました。初日のコースは山門を出て、温泉通く九日町く日吉町く松坂町く東通町く堀明町く上広町と歩きお寺に帰る、短めの足慣らしのコースです。

びに当番地区の皆様方、丹誠なる御奉仕、大変ご苦労様でした。
(順境院日撮・記)

午後七時前に住職が本堂前に進み、出立の祈りを捧げ、院首上人、前坊守様の見送りを受けて、住職を先頭に中原総代、檀信徒が続



山門を出発 ①

き出発。団扇太鼓をたたき、『南無妙法蓮華経・南無妙法蓮華経…』と大きな声で唱えながら、唱題行脚の寒修行を行いました。

団扇太鼓お題目が聞こえたのでしよう、家の前でご夫婦揃って待っておられてお布施を中原総代に渡され、寒行札を受けられました。ある家では灯りがついて子供さんが封筒を握って飛び出してきました。営業が終わりシャッターが閉まりつつあった灯籠もなか店から



山門を出発 ②

セシモニーホーム

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948

山鹿
天龍会館

TEL (0968) 44-0444

もご婦人が出てきて、お布施を渡されました。今日は三十五分ほど修行して圓頓寺山門をくぐり、寒修行帰着の報告を本堂前で行ない、行衣、法被を脱ぎ、団扇太鼓を納めて、檀信徒会館で留守番の方が準備されたお接待を受けて、本日の寒修行を終わりました。

今日は誘惑？コース

本日は大寒のわりには温かく、手袋が要らない寒修行でした。出立の祈りの後出発、山門を出て、栄町、大橋通、下町、宗方、川端町、泉町、天神町、堀明町、九日町を通りお寺に帰るコースです。途中、スナックや赤提灯が灯っている地域があり、誘惑にかられそうになりましたが、振り払って団扇太鼓を一生懸命叩いていたら、撥が真つぷたつ



夜の山鹿の街を行く寒修行

になりました。

今日も多くの皆様からご好意をいただきました。お檀家のご婦人は家の前で合掌しながら、お盆に載せたお布施を持っておられました。横断歩道を走ってきてお金を渡された方もありました。中学生くらいの女子が走って出てきてお布施を渡し、寒行札を受け取ってお饅頭屋さんへ帰っていき

ました。多くのお檀家さんは家の前で待っていて、お布施を渡されていきました。今日は一時間ほどで寒修行は終わりました。

最終日は成満会

大寒らしくなった寒修行最終日は、信行会の例会日でもある二十八日で、午後六時に出発し、三十分ほど街を歩く修行は終わりましたが、今日は家の中で合掌しておられる方を見受け、私は思わず頭を下げに通りました。

本堂前で寒修行成満の祈りを捧げ、記念写真を撮り、本堂で信行会が住職、院首上人により行なわれ、参加者一同読経しました。その後檀信徒会館で寒修行成満の納会が行われ、感謝と慰労の楽しいひとときを過ごしました。



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します

住宅金融公庫其他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範

寒修行は街を歩き修行する人、接待役として留守番の人、体調の都合により本堂や自宅で唱題行をする人、お布施をいただいたお檀家さんや通りかかった方、合掌して寒修行団を迎えた方、また、いろんな御馳走を差し入れする人などにより成り立っていると感じました。寒修行ご参加のすべての皆様ご苦労さまでした。

(編集委員・谷)



最終日に記念写真

子安鬼子母神大祭

桜の満開のもと、三月二十八日、子安講鬼子母神大祭が奉行されました。年に一度の鬼子母神様の大祭日ということでも、多くの参拝者で賑わいを見せました。



吉田上人の法話

法要には、本年二月に百日の大荒行を成満されました、熊本市・妙教寺副住職の吉田光雄上人に御出仕を頂き、ありがたい御法話とお経並びに加持祈祷を頂戴しました。

そもそも、鬼子母神様は、



三世代でお参り

法華経守護の第一の御力を持たれる善神様であり、幼者加護も顕著であります。当山が奉安いたします鬼子母神様も霊験あらたかです。古来より多くの遠近からの参拝を頂いております。特に、子安講の名の示すとおり、子供の健やかなる成長を願う方々からの信仰

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館

横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

例の、圓頓寺の立教開宗法要と大黒尊天祭が、五月三日に開催されました。



山鹿市中 木庭一博

大黒様のご縁に感謝

を集めております。子安講に加入し、子や孫の一年の息災を願う両親・祖父母の厚い心は、古今不変のものであります。子安講への加入はもちろ

んのこと、春休み中の行事でもありますので、是非より多くの子供連れでの御参拝を頂きますよう、お願い申し上げます。 (順境院日撮・記)

立教開宗法要は、日蓮大聖人が三十歳の時、建長五年(一二五三年)四月、旭ヶ森で「南無妙法蓮華經」を唱え、立教開宗を宣言された、と伝えられています。大黒尊天祭は平成元年、当時の副住職・英知上人が大黒尊天をお祭りする資格を得られたことから始まった、とお聞きしました。我が家の大黒様と御幣をお寺に持参し、御祈祷していた



大黒様を祈祷する院首上人

朝からの雨もたいしたことなく大変良かったです。午前中の立教開宗報恩会・大黒尊天祭は院首英知上人を導師に、厳かなうちに終わり、また新たな気持ちになりました。おときを御馳走になり、本堂に行きました。毎年恒例の開運福引が催され、今年も全員に何かが当たる福

毎度ありがとうございます
米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦
☎ (0968) 43-2526
無料電話 0120-23-2526
山鹿市大宮町641-2

熊本日回新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介
園長



山鹿市原町 谷雅子

婦人会長賞にご縁を思う

引、子供さんの特別賞（図書カードとお菓子）、圓頓寺の各団体や役員さん、關係寺院、檀信徒各位などが提供された、大人用の特別賞の賞品もたくさんあり、例年以上に盛り上がりました。特別賞の最後に英人上

人がくじをひかれ、住職賞の当たり番号が私の番号と一致した時は、大黒様のご縁と感謝の気持ちで一杯になりました。
これからも日々大黒様の五徳を念じ、お題目に努めたいと思います。

圓頓寺婦人会は「村雲婦人会」といい、明治時代に創設された大変歴史がある婦人会、と聞いたことがあります。その婦人会の方がご奉仕されておられるお姿に接し、本当に素晴らしいと感じております。
当番地区としてお手伝いした五月二日も、前日から準備された大黒尊天「福もち」づくりに、一心に働い



大黒尊天祭・おときの準備

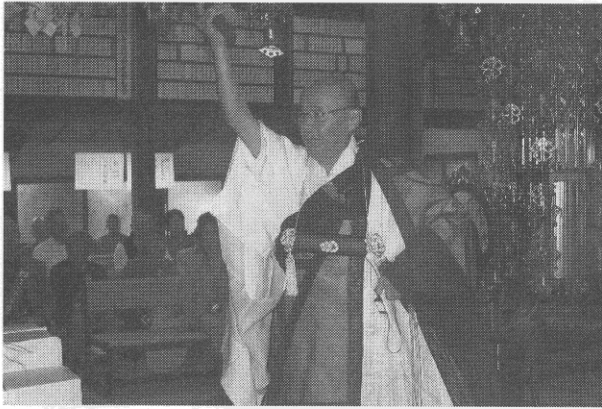
ておられ、私は餅を丸めただけですが、前日の準備に参加して良かったと思えました。男性の方々は、テントを設営し、大黒天祭の旗を立て、幕を張ったりしておられました。
三日はあいにくの雨でありましたが、多くの方のお参りがありました。私は「おとぎ当番」で、婦人会の方、当番地区の方々とお

婚礼・着付

サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277



大黒尊天祭で木剣を切る院首上人

半鐘が叩かれ立教開宗法要会と大黒尊天祭が院首英知上人を導師に、厳かに行われている様子が、檀信徒会館のスピーカーから流れてくる読経で分かります。英人上人の挨拶が終わり、皆様が檀信徒会館へ来られおときをいただかれ、当番の人もおときをいただき、片づけをして福引に参加しました。

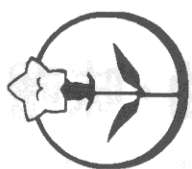
本堂で役員さんたちの乾杯、英人上人が打出の小槌を回しながら大黒尊天五徳の唱和をされて、全員に賞品があたる福引があり、子供特別福引にうつりました。主人も私もくじ運は悪い方です。まして、「特別賞が当たるのは、お寺様にご奉仕し、ご縁のある方々ですね」と主人と話をし、今年も特別賞は無いものと思っていたら、『婦人会長賞・二十八番』と聞こえました。「私が……」と不思議な面持ちで前に進み、美しいアジサイ、カーネーションの花籠と原稿用紙を婦人会長様より受け取ると、『ご主人がついておられるから大丈夫ですよ』と声がかかりました。そうか、これは永年(昭和五十七年から)圓頓寺たよりの編集に携わってきた主人

も、ご縁があつてのことかも知れない。二人で喜びを分かち合おうと思いました。大黒尊天様、婦人会長様ありがとうございました。嬉しいと同時に特別賞のご縁を考えさせられました。思い起こせば子供が小学生のころ、青年会が設立され、林間学校・キャンプ、寒修行など、お寺の行事に親子で参加し、子供もお寺様の教えを学ばせていただきました。今は長崎県に住んでおり、山鹿へ帰ってきた時だけのお参りになりましたが、孫も帰った時はお題目を唱えます。今日(五月三日)連休で帰ってきましたので、福引の特別賞の話をして、母、私たち、子供夫婦、孫と四代、お寺様のご縁を大切にして生きていきたいと思えます。

合掌

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

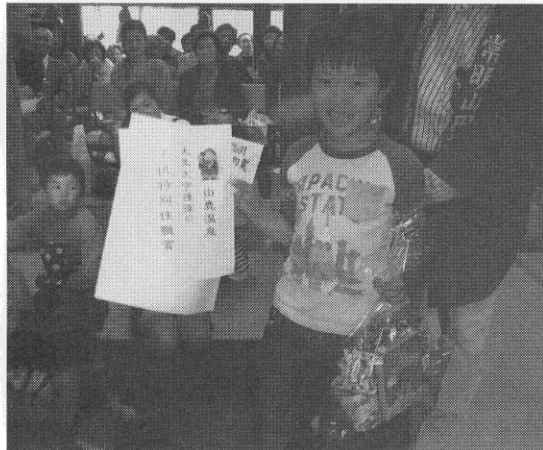
山鹿温泉


 清流苑 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768
 電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)
 ファックス (0968) 43-5153

大黒様子供賞をいただいて

山鹿市 亀田しようだい



大黒尊天祭には、今年で三回目の参加になります。代筆させてもらいます母です。家は四世代同居をしており、祖父母、曾祖母が毎朝仏壇にお参りに行くときは、膝に座り、一緒にチンチンとお鈴を鳴らし、手を合わせています。

そんな大所帯の中で生活しており、祖母たちがお寺の話をしてくれたり、用事でお寺へ出かけるときは一緒に出掛け、「今日はゴボウさんに会ってきた」と話をしてくれます。

ゴボウさん？ お坊さんのこと？ と少し考えましたが、楽しそうにゴボウさんの話をしている「しょうだい」に合わせ、失礼と承知で家族の中では皆、「ゴボウさん、ゴボウさん」と言っております。

本日の大黒様のお祭りも、「やったくゴボウさんの所に行く」と楽しみにしていました。

子供福引はジャンケン大会でしたが、まさかこんな

にジャンケンが強いとは：本人は図書カード・お菓子よりも、ジャンケンで勝ったことがとてもうれしかった様子で、本日は四世代で楽しませて頂き、ありがとうございました。

福引特別賞提供者

(順不同・敬称略です)

- 圓頓寺住職、同子供特別賞
- 福岡・妙教寺、甘木・大安寺、唐津・竜王寺、元寇園教会
- 圓頓寺本総代会、圓頓寺婦人会、染と織おにき、井上組
- 中原電機、原文雄、とらや商会、ワールド観光、阿蘇品組、松下仏壇店、盛文社印刷、喜久家、朝日新聞山鹿店、イタリー亭、熊本第一信用金庫
- 山鹿支店、(株)国富興商、花見坂、履物銀鳥、木庭一博、井沢保険事務所、天寿苑、上田常人、高野英一、松尾英勝



マルカメ醤油・味噌 灯笼しょうじょん

山鹿市中1000-2
☎ 44-3131

行事スナップ



寒修行・納めの信行会



初講・お箏三人衆



鬼子母神大祭・水行を見守る



鬼子母神大祭・団扇太鼓お題目でお迎え



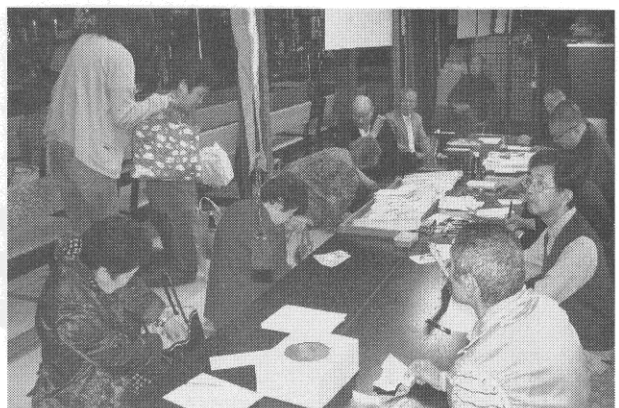
4月8日・花まつり



婦人会・花御堂づくり



大黒尊天祭・献膳の儀



大黒尊天祭・受付

お寺の行事

土用丑の日

七月二十四日午前十時

お盆お施餓鬼法要

○当山では例年の通り、七月二十四日（金）に、ほうろく灸祈祷会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。

○特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久平和実現を祈る法要です。で、お家族そろって御参詣ください。

○五十回忌供養・お盆・先祖供養・初盆供養の塔婆供養御希望の方は、早めにお申込み下さい。

一、施餓鬼三尺塔婆供養 二、〇〇〇円
一、特別六尺塔婆供養 五、〇〇〇円

○記念法話（午前十時）

○ほうろく灸祈祷は、九時三十分と十二時にいたします。

十月十三日（火）

午前十時

御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡くなりになった日で、大聖人の偉大なご生涯をたたえ、しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとって一番大切な法要です。

御会式には御会式桜を奉納しますが、これは、大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が咲いたという故事にちなんでおり、全国のお寺で行われています。

十二月八日（火）

午前十時

荒神大祭

お焚きあげ会

○一年間御護りいただいた三宝荒神（地・水・火）への感謝の法会。御先祖へ一年間の報恩感謝の供養をささげる日。

十二月

合同大掃除

護持会、婦人会、信行会、地区世話人、墓地所有者
檀信徒合同奉仕

発行所

山鹿城址

湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二八

電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ: www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール: info-seibunsha@hyper.ocn.ne.jp